

第 139 回 東葛しぜん観察会

江戸川土手で虫とコウモリ、望遠鏡で土星も見よう！

守永 博夫（習志野市）

日 時：8 月 26 日（土）16 時 30～19 時 30 分 天気：曇

場 所：松戸市江戸川土手（松戸駅西口）

参加者：24 名（内 子ども 9 名）、指導員 14 名

担当指導員：草野、高野、守永

夏休み最後の土曜日 24 名の参加者 3 班の予定のところ 4 班に増やしての観察会となりました。大気の不安定な日が続く中、雨の心配もありましたが予定どおり行うことができました。

挨拶の後、注意事項を確認、足首体操をして、いよいよ観察会の開始。まずは昼の観察会。土手の斜面の草が生えているところでバッタやコオロギなどを捕まえます。大人も子どもも皆んな夢中。捕まえたバッタなどをプラカップに入れて全員集合。昆虫に詳しい指導員から解説を聞きます。捕まえた昆虫は、ショウジョウバッタ、トノサマバッタ、オンプバッタ、クルマバッタモドキ、クビキリギス、ハラビロカマキリのたまご、アオモンイトトンボのなかま、ヤマトシジミなど。その後、生き物は逃がしてあげました。

午後 6 時ごろから、土手の上で暮れゆく空を眺めながらの休憩タイム。お弁当を食べながら、一番コウモリが飛ぶのを探します。バットディテクターも使います。空が暗くなってきたころ、バットディテクターがコウモリの超音波を捉えます。操作していた子どもも得意げ。そのうち、沢山のコウモリが飛び交います。中には目の前を飛ぶものもいて、こんなに近くで見るのは初めてという人がほとんど。感動。コウモリクイズなどして、コウモリについての理解を深めました。例えば、アブラコウモリの重さはたったの 6 グラム（1 円玉 6 枚分）。軽いのにビックリ。

ようやく暗くなってきた午後 6 時半からは夜の観察会。鳴く虫の声を聞き分けます。アオマツムシ、エンマコオロギ、ツズレサセコオロギ、カンタンなど。タブレットで鳴く虫の映像、鳴く声も利用して解説を聞きます。

雲が多く星の観察はできないかな…と思っていたところ、急に雲の切れ間から青空。土星や夏の大三角の星たちを見ることができました。星に詳しい指導員の楽しい解説にみんな大満足。無事、虫とコウモリと星の観察を終えることができました。

あっという間、とても楽しかったという参加者の声。子ども達だけでなく大人も楽しめる観察会になったようです。



河川敷で虫捕り・虫しらべ